

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 691-3323

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130 '16年12月11日号

市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp



期待外れのJR西大路駅「バリアフリー」化構想

市民意見を出しましょう

先日、エレベーターの設置など障害者や高齢者にやさしい駅づくりをめざす西大路駅のバリアフリー化構想が発表されました。ところがその内容は、現駅端から北方向へ陸橋を渡し、線路の北側に改札を設置しようとする

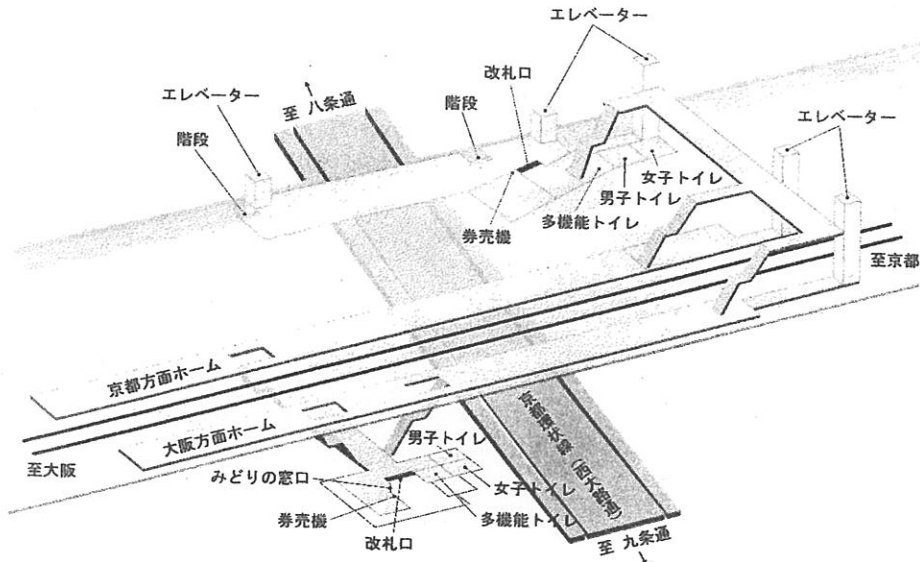
もので、現駅舎は手つかずのまま。全く期待外れの構想です。5日の市議会での井上議員の質問と市の答弁の要旨を紹介します。

※ ※

○市幹部↓知っている。●その立場から言えば、例えば、下りホームを使わず、北側にもう一本ホームを新設、上りホームの通路東側でのエレベーターの設置、下りホームの東西両側の階段の北側半分をエスカレーターに、プラットホームと駅の真北側とを跨線橋で繋ぐ、

等々、との改善はどうか。桂川・洛西口駅も素早く新設された。雨の漏水改善や壁の塗装要望等についてはすぐにもできるはず。○前者は困難、漏水対策等は引き続き検討。●①今回案で終わりとできない、撤回して再考すべき、②今後、第二期として現駅舎を中心とした改善が図られるなら、今回案についても反対するものでもない、③しかしその場合、二期工事への担保

が要る。○今回案で客の流動を見極めた上で現駅舎案も検討していく。※ ※ また、井上議員は、西大路九条交差点北側の東西横断歩道の設置、鉄道の南側、西大路通りを跨ぐ横断歩道橋の東側階段付近の安全対策を求めました。市民意見は15日、1月23日迄。ご意見を紙に書いて頂いて、FAX 213の1064へ。詳細は井上議員迄。みんなで声を挙げましょう。



現在の南側駅舎でのバリアフリー化施設などによる設備改善については、新幹線橋脚の影響による構造上の制約からバリアフリー経路の確保ができないことや、現在の朝夕の混雑状況からすると工事中の御利用者の安全性が確保できないなどの課題があり、現状での整備実現は困難な状況です。

今後、今回の計画により、まず、北側駅舎を整備し、御利用者の分散化が図られれば、その後の流動状況を踏まえた南側駅舎の設備改善について引き続き検討してまいります。



12月1日、京都市が政府に要望書を提出。「渋滞解消策」等を求

懲りない面々の荒唐無稽な「渋滞解消」神話

実際の限のない道路拡幅の次は、歩行者を地下に追いやる!?

める内容ですが、その中に、①堀川五条から油小路十条にかけて、地下トンネルを掘るといふ無謀な計画と、②「堀川八条付近の横断歩道の移転や地下化」との項目も含まれていました。5日の市議会でも井上議員が追及しました。

●「移転や地下化」とはとういふ意味か。

○市↓……

●堀川とこの間は油小路のこたと思いが、東西南北4カ所の横断

歩道のうちの歩道を地下化するのか。○市↓具体的に想定しているわけではない。●要望を受けた国にすれば想定の有無は関係ない。撤回すべきだ。上の写真は八条油小路付近。この交差点のどこに「地下横断歩道」を作ると言うのでしようか。「渋滞解消」を金科玉条に、際限なく道を造るとともに、今度は歩行者を地下に追いやる計画です。